



第58回

学藝員のススメ

博物館の学芸員が、あれこれ語り倒すコーナー。



モノクロじゃ 夢虫になれない

えんじの 梶 真史

市内には約7千500種の動植物が生息しています。このうち昆虫は5千種を占め、動植物の一大勢力です。

色彩に着目すると、茶褐色や黒色など地味な色彩の種がいる一方、光り輝く美しい種も見られます。ヤマトタマムシはその代表格で、体が虹色と緑色に輝き、見る方向で色調が変わるのが不思議です。市内各所で見られますが、高所を飛ぶことが多く、珍しいと思われるかもしれません。サクラやエノキなどに来ることを知っていれば、出合う機

会も増えるかと思えます。もう一種、ミヤマカラスアゲハを紹介します。こちらは山間にすみ、夏は



▲ヤマトタマムシ



▲ミヤマカラスアゲハ

地面にできた水たまりに集まるので、雨上がりのハイキングなどで出合えるかもしれませんね。

これらは、モノクロ写真ですと魅力が半減します。ぜひ、開催中の企画展「夢虫になる夏が来る！」で、実物の美しさをご覧ください。



展示会の詳細
はこちら